平成16年度 特別・企業会計予算についての討論

平成16年度病院事業会計予算について

反対討論

半澤利貞

鳴り物入りで造った病院であるが、開設当初に振興協会と取り交わした覚書には、医師九名とあるにも関わらず、スキー観光が基幹産業の湯沢で骨折しても整形外科医がいない。

予算審議の中で指摘しても当局は、「振興協会にお願いしている！」等の答弁であり、契約したにも関わらず医師の確保を怠る振興協会に町は、契約通りの金額を払うとしている。

毅然とした対応を求めて当会計に反対をする。

賛成討論

池田宏

27億円を超える巨費を投入した病院が来院者も多く、また満床で利用がされていることは喜びとします。地域医療振興協会と協調し、診療所から病院にできたことは町民医療基盤安定の一歩であります。建設当初地域医療振興協会と交わした契約事項が一時も早く充実するよう町長が不断の努力をすることを付して賛成の討論とします。

反対討論

南雲正美

地域医療振興協会と町は医療体制及び町からの補助金について契約を締結しているところであります。

開業以来整形外科は医師がいないという事できちんとされていない。

観光立町の我が町で一番必要とする科が整っていないのは誠に遺憾である。契約の大義が無視されていることになります。

建設工事について言えば、設計書に基づいて工期内に完成させるが基本で、設計通りでない場合は違約金を払うことになる。

病院側は町に対して契約不履行であるから8千万円の補助金を半分位にカットすべきと考えますので、充分に検討して対処していただきたい。

平成16年度観光事業会計予算について

賛成討論

池田宏

観光事業としてロープウェーは花開いた時代はありました。しかし開業以来47年、時代変遷の中で現状は重大な町の重荷となって町財政を揺るがす状態であります。

ロープウェーが大きく経費がかかる、またレストランサントピアにロープウェーの接続が悪く、営業が活かされていない等、不況に追い打ちがかかっています。赤字に転落して12年、一般会計から助成の投入は20億円を超えている。民間なら既に倒産であります。如何に公営企業としても、足らなかったらまた一般会計……からは、もうできない。職員は努力しているが、それで解決できないところにきています。

麗句に終わる町長の答弁でなく今後の決断と対策を早急に求めて賛成の討論とします。

賛成討論

南雲正美

観光立町と地元の立場から今年の赤字8千万円の一般会計から繰り入れであるが、営業を休止することは出来ない。

町長、あなたは事業所長に丸投げでまかせるのでなく、事業所の最高責任者は町長あなただから毎年一般会計からの繰り入れに甘んじているのでなく、事業所をどのようにすれば赤字が削減出来るか、町の三役を含めて各課長を柱として対策委員会的なものを作ってほしい。

抜本的改革として職員の削減、圧雪車経費削減、借地料の改定、ロープウェー運賃の改定、営業の有効的改善により大幅な赤字削減を図るよう努力をしていただく決断を求めて賛成の討論とします。